

学校法人 八紘学園

# 北海道農業専門学校

Hokkaido Agricultural Technical College

SCHOOL GUIDE

# 2027



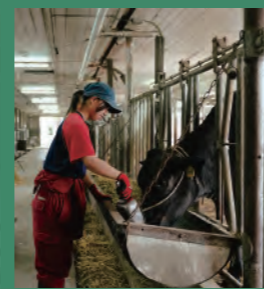
育てるのは、私。

## CONTENTS

- 01 学びの先に、ひらける道がある。
- 03 北海道農業専門学校の教育
- 04 農業と都市が共生する広大な敷地  
— キャンパス紹介
- 05 学び × 実践で就職に強いカリキュラム  
— 学びの流れ
- 06 農業のプロフェッショナルを育成  
— 資格・進路サポート
- 07 ここで見つけた、自分らしさ  
— 先輩インタビュー
- 09 畜産グループ
- 10 乳牛科コース
- 11 日高畜産科コース
- 12 耕作機械科コース
- 13 園芸グループ
- 14 野菜科コース
- 15 果樹科コース
- 16 暮らしの中に、学びがある  
— 八紘寮紹介
- 17 先輩たちの進路と成長のストーリー  
— 進路・就職
- 18 校長挨拶

# 学びの先に、 ひらける道がある。

農地や牧場で生産された農畜産物や加工された商品は、やがて消費者の手に渡ります。  
大都市札幌の市街地にある学校法人八紘学園北海道農業専門学校は、  
農業が環境を守りながら都市と共生していくことを実感し、学べる環境です。  
都市で農業を行うことで、地域や企業、他大学教育機関、研究機関などと  
幅広く連携することが可能になります。  
生産だけでなく、商品開発やマーケティング、販売にも視野を広げた学びを提供することで、  
次世代農業者の育成を目指しています。



# 生きるチカラ、感じるチカラ。 そして、人間力を農業から。

北海道農業専門学校は、地下鉄駅から徒歩5分という便利な立地に、  
広々とした農場を備えた農業の専門学校です。  
都市に近い環境でありながら、自然の中で実践的に学ぶことが大きな特長のひとつです。

農業の後継者を目指す方はもちろん、未経験の方も安心して学ぶよう、  
本校では2年をかけて基礎から丁寧に学べるカリキュラムを用意しています。  
授業は段階的に進み、教職員によるサポートも充実しているので、  
無理なく着実に力を伸ばしていきます。

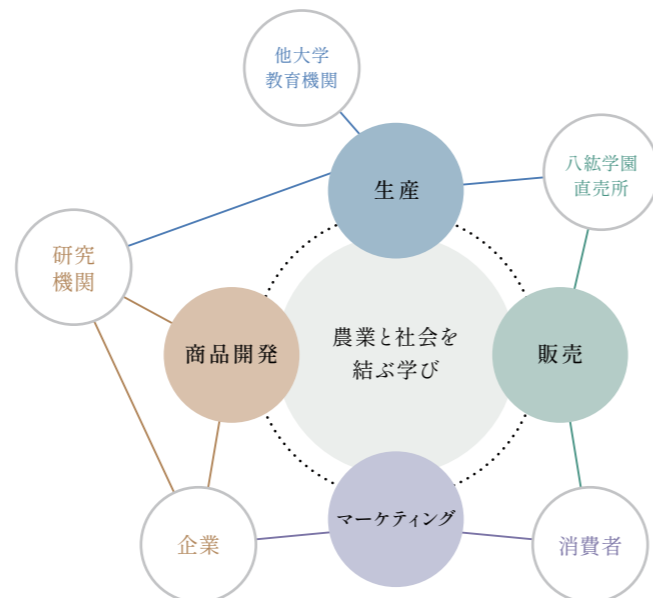
また、本校は【全寮制】を採用し、学生全員が寮での共同生活を経験します。

“仲間と支え合いながら課題に向き合い、自ら考えて行動する。”  
その積み重ねにより、「人間力」が身についていきます。  
授業では得られない気づきや成長があり、共に過ごした仲間との絆は、  
卒業後も続く一生の財産となるでしょう。



## 都市と大地が交わる場所で 社会と農業のつながりを学ぶ

北海道農業専門学校は、札幌市内にありながら、広大な農地や牧場を備えた  
実践的な学びの場です。ここでは、作物や畜産物を育てるだけでなく、加工や販  
売といった流通の仕組みまでを見据え、農業が地域や社会とどのように結びつ  
ているのかを、体験を通して学んでいきます。  
都市の中で農業を営むことで、地域の人々や企業、大学・研究機関・販売組織など、  
さまざまな立場の人々との出会いが生まれ、つながりが自然に広がっていきます。  
そうした関係性のなかで、環境との共生や、都市に根づいた農業の在り方に触  
れることができるのも、この学校ならではの魅力です。  
本校では、生産技術にとどまらず、商品開発やマーケティングといった視点も育み  
ながら、これからの時代を切り拓く農業人の育成を目指しています。



## 農業と都市が共生する、広大な敷地

詳しい情報は  
こちらから



札幌市の市街地に63ha、日高に129haの農場を有し、  
その敷地面積は東京ドーム40個分にも相当します。  
農業を学ぶための充実した環境は、広大なフィールド  
だからこそ実現するのです。



**日高農場 学生寮 2025年8月に女子棟新築！**  
日高実習期間中の宿泊施設として学生寮があります。男子棟は改修し、女子棟  
を2025年に新築して、安全で使いやすいものになりました。また、更衣室も別  
棟に設置し、検疫措置の実施等にも配慮しています。



**八紘学園農産物直売所 地域とのつながり**  
農産物直売所では、学生たちが実習を通じて新鮮な農産物や、乳製品を  
販売し、地域社会と農業のつながりを深め、持続可能なまちづくりに貢献  
しています。

**SHOP DATA**

**八紘学園農産物直売所**

- 🕒 10:00～16:00
- ☀️ 4月中旬～11月上旬/木曜定休
- ❄️ 11月中旬～4月中旬/火～金曜定休
- ※土・日・月曜日のみ営業

# 学び×実践で就職に強いカリキュラム

1年次には農業全般を幅広く体験するため、各科での実習を行い自分自身の可能性を広げます。  
2年次には2つのグループから、さらに希望するコースを選び集中的に実習し、実践力を磨きます。

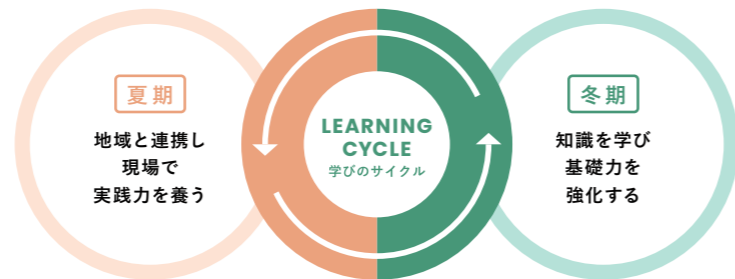
詳しい情報は  
こちらから



## 学びの流れ

### 夏は畑で学び、冬は机で鍛える — 地域とともに育つ農業人材

夏期は農場畜舎、冬期は講義中心のカリキュラムで、必要な知識と経験を身に付けます。



## 1年次カリキュラム

### 実践から学ぶ農業の基礎

学生は班ごとに分かれ、日替わりで各科の実習を行い、協力しながら農業全般を学びます。実習期間中も農場での演習や実習講義を通じて、実践と理論の両面から理解を深めます。

#### 資格取得

ガス・アーク溶接や車両系建設機械運転技能講習、フォークリフトなど知識と演習が必要な資格を授業内で取得することができます。

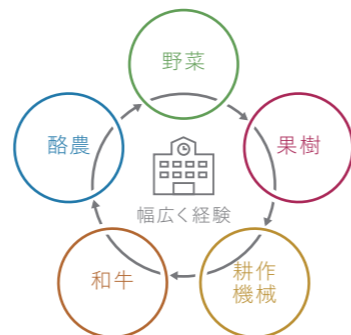
#### 演習 I

「病気にかかった植物体の採取観察」「土の断面から土の物理的性質・調査」「牛の体内構造の観察」「牛の繁殖・生殖器の解剖」などを通して理解を深めます。

#### 視察研修

年2回、道内の農業関係機関などへ視察研修に行きます。企業が持つ最新技術や働く上で必要な知識やスキルを得る契機となります。

「班を組み、日替わりで各科を実習」



## 1年次年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入寮 入学式	建機講習			夏休み(2週間)		測量実習		農業技術検定 冬休み(3週間)	土壌分析実習	畜産加工実習 エンジン 分解組立実習 キャリア 形成実習	終業式 春休み(3週間)
	日高実習					視察研修(畜産・園芸各1回)					
	班別実習					準専攻実習(選択制)					
			インターンシップ期間							後期講義	

## 2年次カリキュラム

### 即戦力として活躍するための技術と心構えを養う

2年次には、畜産・園芸の大きく2つのグループに、更にその中で5科のうち1つを選択します。希望する分野での基礎の技術と専門知識を多くの時間をかけて自分のものとしていきます。

#### インターンシップ

インターンシップは全学年が対象。特に2年次では、就農先の仕事内容や最先端技術の経験を機会として積極的な参加を促します。

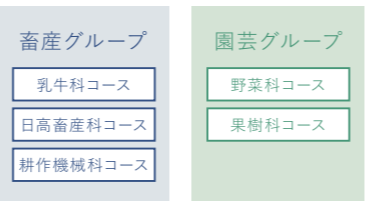
#### 演習 II (テーマ研究)

実習環境で自ら興味を持ったテーマで実験、観察、調査を実施。必要なデータの収集、発表を通し学んだことへの理解を深めています。

#### 研修旅行

学生自身が、学びたいことや行き先を決める研修旅行。高度な技術の導入や、優れた経営理念や経営手法を学べる農場等を視察します。

「2つのグループから、希望するコースを1つ選んで集中的に実習」



## 2年次年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
始業式				夏休み(2週間)		測量実習		冬休み(3週間)		農産物加工実習 溶接実習	卒業レポート発表 卒業式
						研修旅行(各科2泊3日)					
	コース別実習					コース別実習					
			インターンシップ期間							後期講義	

# 農業のプロフェッショナルを育成

農業には生産や生育についての知識や技術のほかに、農業機械や農薬、肥料、食などさまざまな分野についての知識や技能が必要です。専門的な知識を学び、資格取得を目指すことは、農業のプロフェッショナルへの第一歩になります。

詳しい情報は  
こちらから



## 学内(授業)で取得を推奨している資格

資格の名称	畜産グループ			園芸グループ	
	乳牛科コース	日高畜産科コース	耕作機械科コース	野菜科コース	果樹科コース
家畜人工授精師(牛)	●	●	●		
車両系建設機械技能講習(整地等)	●	●	●	●	●
フォークリフト運転技能講習			●	●	●
玉掛け技能講習	●	●	●	●	●
小型移動式クレーン運転技能講習	●	●	●	●	●
ガス・アーク溶接技能講習	●	●	●	●	●
日本農業技術検定 1級・2級・3級	●	●	●	●	●

※一部資格については学外での実施となる場合があります。

## 学外(授業)で取得を推奨している資格

資格の名称	畜産グループ			園芸グループ	
	乳牛科コース	日高畜産科コース	耕作機械科コース	野菜科コース	果樹科コース
毒物劇物取扱者(一般)	●	●	●	●	●
削蹄師(2級)	●	●			
食生活アドバイザー	●	●	●	●	●
食育インストラクター 1級・2級・3級・4級・プライマリー	●	●	●	●	●
家畜商	●	●			
普通自動車免許・大型特殊免許	●	●	●	●	●

※本校の規定により、申請書を提出すると受講料金の一部助成を受けられるようサポートしております。  
※普通自動車免許・大型特殊免許については助成サポート対象外です。

## PICK UP 大学への編入制度

### 国公立・私立大学編入学へのチャレンジ!

専門学校を卒業する学生が、4年制大学の3年次または2年次に編入できる制度です。本校で2年課程と学科の修了認定を受けて、『もっと勉強したい』『もっと資格を取得して仕事の幅を広げたい』という方は、大学への3年次編入が可能です。編入後の大学を通し就職の幅も大きく広がります。  
※大学側の単位計算により、1年次、2年次編入になる場合もあります。



## PICK UP 進路サポート

### 少人数制だからできる進路支援

本校には農業後継者のほか、農業に関わる仕事をを目指す学生が全国から集まっています。学生が思い描く未来はさまざま。本校で開催する「農業のしごと相談会」や、企業や牧場で業務を経験する「インターンシップ」を通して、進路のミスマッチを抑え、就職率を上げ、離職を防ぐよう取り組んでいます。少人数制だからこそ、一人ひとりの希望や適性、状況に寄り添いながらサポートできるのが本校の魅力です。



# ここで見つけた、自分らしさ

この場所で、私たちは「自分らしさ」を見つけた。学び、挑戦し、仲間と支え合いながら、一歩ずつ夢に近づく毎日。そんな等身大のストーリーをお届けします。

## 間宮 彩心 さん

乳牛科 2年 / 5月共進会リードマンコンテスト1位  
千葉県立安房拓心高等学校 出身

入学前は寮生活や早起きが不安でしたが、実際に生活してみたら上手くできていて、今では寮長を任されるほど成長できました。寝坊もほとんどせず、先生との距離も近くて楽しく学んでいます。牛に触れる時間も増えて扱い方がわかってきたし、周りを見て動けるようになった自分に少し成長を感じます。ここでは、好きなことに思いきり挑戦できるのが魅力です。

牛と向き合い  
見つけた成長



機械を学び、  
父に近づく日々

## 藤井 陵介 さん

1年  
北海道苫小牧東高等学校 出身

実家は畑作農家で、幼い頃から父がトラクターで作業する姿を見て育ち、自分もそうなりたと思っていました。この学校では農業用機械を整備から運転まで学べる実習があり、運転が上達していくとやりがいを感じます。今は寮生活にも慣れ、友達と学び合いながら、父のように農業で人の生活を支えたいという気持ちが強くなりました。

果物が好き、  
それがやりがい



## 大月 空 さん

果樹科 2年  
沖縄県立読谷高等学校

果物が好きで、ここではリンゴやブドウなどさまざまな果樹に関われるのが楽しいです。収穫のときは特にやりがいがあり、作業がスムーズに進むと達成感があります。朝が苦手な遅刻魔だった自分が、今では誰よりも早く寝て早く起きるようになったのも成長かな。全国から集まった仲間と学べるのも、北海道農業専門学校ならではの魅力です。

詳しい情報は  
こちらから



未経験でも  
牛が教えてくれる

## 藤田 歌望 さん

乳牛科 2年  
栃木県立小山西高等学校

農業経験ゼロで入学して、最初は経験者の足を引っ張らないか不安でした。けれど牛が可愛くて毎日ときめくし、実習や直売所でお客様の笑顔を見るとやりがいを感じます。わからないことは恥ずかしながら質問して、少しずつ学べるようになりました。牛の出産に立ち会ったときは、命の大切さを改めて感じた忘れられない経験です。



札幌で農業を学び  
夢へと邁進

## 荒涼之介 さん

1年  
北海道富良野緑峰高等学校(現 北海道富良野高等学校)

父が卒業生だったことがきっかけで北海道農業専門学校を知り、中学生の頃から進学を考えていました。寮生活や早起きに不安がありましたが、今では自然と早起きできるように。日高実習や収穫作業が特に印象に残っていて、実習後に仲間と食べるソフトクリームが毎日の楽しみ。卒業後は実家を継ぎ、地元で農業を続けることを目指しています。



## 畜産グループ

乳牛科コース / 日高畜産科コース / 耕作機械科コース

所属する学科を中心に学びながらも、希望すれば他の学科での実習に参加できるのが、本校ならではの柔軟な学びのスタイルです。

たとえば乳牛科の学生が将来の牧場経営に備えて機械の操作を学んだり、耕作機械科の学生が飼養管理の実践に取り組んだり、分野の垣根を越えて多角的に学べる環境が整っています。

それぞれの専門性を深めつつ、自分の将来像に合わせて学びを広げていけるのも、本校ならではの魅力です。

■ 畜産グループ

## 乳牛科コース

乳牛科コースを専攻すると、牛舎作業の実習の大半を「乳牛の飼養管理技術の習得」に費やすことになります。長い時間を牛たちと過ごすことで、牛それぞれの個性を感じ、理解できるようになります。

中にはその牛の体の一部を見ただけでどの個体かを判別できるほどになる学生も。乳牛を飼育する上で非常に重要な「牛を見る目」を養うことができるのです。乳牛は大きな変化を嫌う生き物。レベルの高いルーチンワークを責任を持って行えるように、指導と環境づくりを行っています。

## 乳牛科コース



育種改良、高品質生乳生産についての高い技術を学習。牛を見る目を養うことを大切にしながら、ゲノム成績を利用した牛の改良を学べます。

## 日高畜産科コース



広大な敷地にあるつなぎ牛舎、フリーバーン・フリーストールなど、飼い方の違う4棟の牛舎で実習。アニマルウェルフェアの考えに沿って、和牛の管理を行います。

## 耕作機械科コース



土地を耕し、種をまき、刈り取るまでに必要なトラクターや作業機など、全ての機械作業を実践できるのは本校ならではの。ICT農業を見据えた新技術の導入も進めています。

## コースの特色



## ① 牛の個性を見抜く「観察力」が身につく

実習を通じて、牛たちの個性や小さな変化を見逃さない力を養成。牛の健康状態や性格を見抜ける「牛を見る目」が磨かれます。



## ② 責任感を育む、毎日のルーチンワーク

乳牛は変化を嫌う生き物。毎日同じリズムで正確に作業をこなすことで、信頼される飼養管理技術を習得できます。



## ③ 全日本ホルスタイン共進会を見据えた牛の改良と実習

牛の改良を目的とした共進会に向け、日々の実習でリードマンシップを学び、上位入賞を目指します。

## ④ ある1日のスケジュール

- 4:00 起床、早朝実習
- 6:30 朝食、休憩時間
- 8:00 朝礼、午前の実習開始
- 11:30 昼食、昼休み
- 14:00 午後の実習開始
- 17:30 実習終了  
入浴、食事、フリータイム

## ⑤ 年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般飼養管理											
● 石狩スプリングショウ						● 石狩・空知ホルスタイン共進会					
● 北海道ブラックアンドホワイトショウ						● 北海道ホルスタインナショナルショウ ● デントコーン収穫					
● 家畜人工授精師講習											
● 畜産加工実習											
後期講義											

## 後期講義科目

● 農業政策・農業経営学(隔年) ● 農業実践論 ● 土壌学 ● 作物学 ● 園芸学 ● 畜産学Ⅰ ● 農業機械Ⅰ ● 農業機械Ⅱ ● 食品製造学 ● 家畜健康管理学 ● 家畜飼養学 ● 家畜繁殖学Ⅰ ● 家畜栄養学 ● 畜産学Ⅱ ● 作物栽培学(飼料作物) ● 作物栄養学 ● 植物病理学 ● 応用昆虫学 ● 農業気象学 ● マーケティング論 ● 情報処理 ● 家畜の育種 ● 家畜繁殖学Ⅱ ● 6次産業化・商品開発 ● 農業簿記学 ● 経営分析 ● 測量学 ● 農業ICT概論 ● 農業機械整備 ● 英会話Ⅰ・Ⅱ ● 農業用薬物概論

先輩に聞いてみた

## ギモン解決! Part 1

## Q1 どんな資格が取れますか?

2年生対象で家畜人工授精師資格を学内受講可。玉掛けやクレーン技能講習も開催します。

## Q2 寮生活で大切なことは?

時間厳守や私物管理、共有スペースの使い方など、共同生活のルールを守ることが大切です。

## Q3 入学前に車の免許は必要ですか?

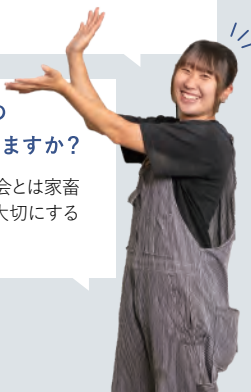
入学前に必ず取得の必要はありませんが、実習や資格取得で必要になるため近隣教習所で取得する学生もいます。

## Q4 奨学金はありますか?

学校独自の奨学金はありませんが、日本学生支援機構や栗林育英学術財団の奨学金があります。

## Q5 ホルスタイン・和牛の共進会には参加できますか?

1年生から参加できます。共進会とは家畜の品評会です。日々の管理を大切にすると好成績につながります。





畜産グループ

# 日高畜産科コース

日高畜産科コースでは、和牛の繁殖から肥育まで学べる「和牛の一貫経営」を中心に実習を行っており、和牛共進会で奨励賞を受賞するなど、高い評価を受ける肉牛を生産しています。牛舎は4棟あり、発酵床式フリーバーン牛舎では繁殖和牛を、2019年新設の肥育牛舎では肥育牛を管理。フリーストール牛舎では和牛とホルスタインの育成牛を飼養し、分娩房としても活用しています。繋ぎ飼いの牛舎ではホルスタインの育成牛や乾乳牛の管理が可能です。さらに、生体センサーを導入し、牛の行動や健康状態を常時把握できる体制を整え、最新技術を活用した飼養管理も学べます。

## コースの特色



1 4種類の牛舎で幅広い飼養管理を実践

育成牛、乾乳牛、繁殖和牛、肥育牛まで、さまざまな飼育形態を経験し、和牛の一貫経営の流れを深く学べます。



2 最新技術「生体センサー」で牛の健康管理

生体センサーを使って牛の行動や健康状態をリアルタイムに把握。最先端の畜産技術に触れることができます。



3 12頭連続で【最高ランク】A5等級獲得

日高農場から出荷した肥育牛の多くはA5等級を獲得し、BMS no.12をつける牛もいます。

### ある1日のスケジュール

- 5:00 起床、早朝実習
- 6:30 朝食、休憩時間
- 8:00 朝礼・午前の実習開始
- 11:30 昼食、昼休み
- 14:00 午後の実習開始
- 17:30 実習終了  
入浴、食事、フリータイム

### 年間スケジュール



## 後期講義科目

- 農業政策・農業経営学(隔年) ● 農業実践論 ● 土壌学 ● 作物学 ● 園芸学 ● 畜産学Ⅰ ● 農業機械Ⅰ ● 農業機械Ⅱ ● 食品製造学 ● 家畜健康管理学 ● 家畜飼養学 ● 家畜繁殖学Ⅰ ● 家畜栄養学 ● 畜産学Ⅱ ● 作物栽培学(飼料作物) ● 作物栄養学 ● 植物病理学 ● 応用昆虫学 ● 農業気象学 ● マーケティング論 ● 情報処理 ● 家畜の育種 ● 家畜繁殖学Ⅱ ● 6次産業化・商品開発 ● 農業簿記学 ● 経営分析 ● 測量学 ● 農業ICT概論 ● 農業機械整備 ● 英会話Ⅰ・Ⅱ ● 農業用薬物概論



畜産グループ

# 耕作機械科コース

耕作機械科コースではトラクターや農作業機を扱う実習時間が他校と比較して多く、札幌農場と日高農場の敷地内では、安全面の指導を受けながら思う存分広大な敷地で操作が可能です。また、操作だけでなく機械整備についても学べます。機械整備実習がある学校は他にもありますが、教員の指導のもと学生本人が整備した作業機やトラクターを実際に農場実習で使用できるのは、本校耕作機械科ならではの強みです。

## コースの特色



1 実習量が圧倒的！トラクター操作力を習得

広大な敷地内で、トラクターや農作業機の操作を通して、実践的な技術を深く学べます。



2 自分で整備した機械で実習できる！

機械整備の基礎から実践まで、教員の指導を受けて自分で整備した機械を実際の実習で使える貴重な経験が得られます。



3 スマート農業を実践で学ぶ！

自動操舵機能搭載トラクターやスマート農業機械の操作・活用方法など、実践的な実習を通して学ぶことができます。

### ある1日のスケジュール

- 5:00 起床、実習先に移動  
(実習が日高農場の場合は日高町へ移動)
- 6:30 朝食、休憩時間
- 8:00 朝礼・午前の実習開始
- 11:30 昼食、昼休み
- 13:00 午後の実習開始
- 17:00 実習終了  
(日高農場実習後は札幌へ帰寮)  
入浴、食事、フリータイム

### 年間スケジュール



## 後期講義科目

- 農業政策・農業経営学(隔年) ● 農業実践論 ● 土壌学 ● 作物学 ● 園芸学 ● 畜産学Ⅰ ● 農業機械Ⅰ ● 農業機械Ⅱ ● 食品製造学 ● 家畜健康管理学 ● 家畜飼養学 ● 家畜繁殖学Ⅰ ● 家畜栄養学 ● 畜産学Ⅱ ● 作物栽培学(飼料作物) ● 作物栄養学 ● 植物病理学 ● 応用昆虫学 ● 農業気象学 ● マーケティング論 ● 情報処理 ● 家畜の育種 ● 家畜繁殖学Ⅱ ● 6次産業化・商品開発 ● 農業簿記学 ● 経営分析 ● 測量学 ● 農業ICT概論 ● 農業機械整備 ● 英会話Ⅰ・Ⅱ ● 農業用薬物概論

# 園芸グループ

野菜科コース / 果樹科コース

就農を希望する人にとって、野外の畑で栽培する「露地栽培」から始めるのか、ハウスや温室を使う「施設栽培」にするのかは重要な選択となります。本校の園芸グループでは、露地向きの作物、施設向きの作物に分けて栽培の実習を行うことで、学生一人ひとりの将来の選択に役立つ学びを可能にしています。また、作物を生産し、販売(外部販売・狩りもの販売)する一連の工程を体験しながら、生産物の流通を学ぶことができます。



## 野菜科コース



ビニールハウス・露地物も合わせて約30品目の野菜の栽培技術を習得し、販売まで一連の工程を学びます。近隣の園児の体験学習受け入れなど食育についても学びます。

## 果樹科コース



本校は北海道で果樹を学べる唯一の専門学校。リンゴ、ナシ、ブルーベリー、サクランボ、ブルーベリーなど約1,800本を植栽。栽培管理など生産技術を実習で学びます。

先輩に聞いてみた

## ギモン解決! Part 2

### Q1 寮は何部屋ですか？

一部屋3人部屋です。仕切りがあるのでプライベートも保てます。

### Q2 冬の講義では何を学びますか？

実習で得た知識を体系的に理解するため、講義で理論も学びます。

### Q3 海外研修はありますか？

希望者2~3名が、一般財団法人日本青年協会の助成で国内外研修に参加しています。

### Q4 初心者でも大丈夫ですか？

1年生は全学科を日替わりで実習。基礎から学べるので安心です。

### Q5 学校の周辺環境は？

最寄駅徒歩5分。札幌市街まで地下鉄で14分、近くに商業施設もあります。



## 園芸グループ

# 野菜科コース

畑作りから収穫まで、一連の栽培の流れを学生が主体となって学びます。栽培技術だけでなく、機械操作も学ぶことで実践レベルの人材を養成します。また、実習や直売所での販売にとどまらず、市内農業関係のイベント販売への参加、飲食店や企業への出荷など、食を支える人たちの一員となっています。野菜を作る責任や自然と向き合う難しさを肌で感じ、仲間たちと切磋琢磨し、作る魅力を発見できるように実習を行っています。

## コースの特色



### 1 種まきから収穫・販売までの工程を全て学ぶ

作物に応じた管理・栽培方法の基礎から販売までの一連の工程を実践。野菜が育つ仕組みから流通まで体系的に理解できます。



### 2 食を支える現場での実践経験が豊富

直売所や飲食店への納品を通し、品質管理や販売の工夫、地域との連携を学び、生産者の責任と食の意義を実感できます。



### 3 苗の生産と管理を実践を通して体得する

播種から育苗管理、販売までを実践的に学び、温度や水分管理を通して野菜栽培の基礎となる育苗技術を身につけます。

## ある1日のスケジュール

- 5:00 起床、早朝実習
- 6:30 朝食、休憩時間
- 8:00 朝礼・午前の実習開始
- 11:30 昼食、昼休み
- 13:00 午後の実習開始
- 17:00 実習終了  
入浴、食事、フリータイム

## 年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
農場管理											
播種育苗定植			後期講義								
● アスパラ収穫			● スイートコーンエダマメ収穫			● 農産物加工実習					
● イチゴ収穫						● バレিশヨ収穫					
● トマト・キュウリニンニク収穫						● ダイコン・キャベツ収穫					

## 後期講義科目

- 農業政策・農業経営学(隔年) ● 農業実践論 ● 土壌学 ● 作物学 ● 園芸学 ● 畜産学I ● 農業機械I ● 農業機械II ● 食品製造学 ● 家畜健康管理学 ● 花き園芸学 ● 果樹園芸学 ● 野菜園芸学 ● 組織培養学 ● 作物栽培学(畑作) ● 作物栄養学 ● 植物病理学 ● 応用昆虫学 ● 農業気象学 ● マーケティング論 ● 情報処理 ● 家畜の育種 ● 家畜繁殖学I ● 家畜繁殖学II ● 6次産業化・商品開発 ● 農業簿記学 ● 経営分析 ● 測量学 ● 農業ICT概論 ● 農業機械整備 ● 英会話I・II ● 農業用薬物概論

■ 園芸グループ

# 果樹科コース

リンゴを主に、プルーン、サクランボ、ブルーベリーなど約1,800本を植栽。道内で唯一、果樹の生産技術を実習で行い、苗木の定植から着果までの栽培管理を通じて、品種の特性や基本技術を学びます。また、狩りもの体験や直売所での販売を通じて、消費者と接点を持ち今後の栽培の改善に生かすなど、幅広い経験ができます。生産者だからこそ味わうことのできる果樹の魅力にふれ、寒い北国ならではの工夫や、人々を笑顔にする果樹栽培を身につけることができます。

## コースの特色



### 1 北海道唯一！生産技術を実践で学べる

苗木の新植から開花・収穫まで、果樹栽培の基本を身につけ、品種ごとの特徴や管理技術を実践的に学べます。



### 2 収穫体験や直売所販売で消費者とつながる

学生が中心となって取り組む「果樹園ツアー」。消費者に直接伝える体験を通して、農業の魅力や喜びを実感できます。



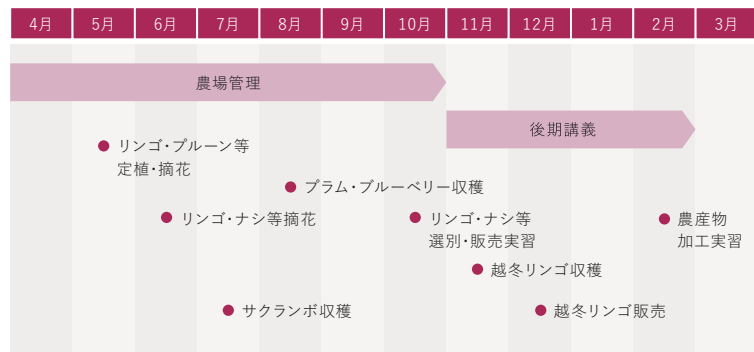
### 3 寒さを乗り越える工夫と、果樹の持つ魅力を知る

北国ならではの知恵と技術を学び、自然の厳しさを越えて実を結ぶ果樹の生命力と、作る喜びを経験できます。

#### ある1日のスケジュール

- 5:00 起床、実習先に移動
- 6:30 朝食、休憩時間
- 8:00 朝礼・午前の実習開始
- 11:30 昼食、昼休み
- 13:00 午後の実習開始
- 17:00 実習終了、入浴、食事、フリータイム

#### 年間スケジュール



#### 後期講義科目

- 農業政策・農業経営学(隔年) ● 農業実践論 ● 土壌学 ● 作物学 ● 園芸学 ● 畜産学I ● 農業機械I ● 農業機械II ● 食品製造学 ● 家畜健康管理学 ● 花き園芸学 ● 果樹園芸学 ● 野菜園芸学 ● 組織培養学 ● 作物栽培学(畑作) ● 作物栄養学 ● 植物病理学 ● 応用昆虫学 ● 農業気象学 ● マーケティング論 ● 情報処理 ● 家畜の育種 ● 家畜繁殖学I ● 家畜繁殖学II ● 6次産業化・商品開発 ● 農業簿記学 ● 経営分析 ● 測量学 ● 農業ICT概論 ● 農業機械整備 ● 英会話I・II ● 農業用薬物概論

## 八紘寮紹介

# HAKKO LIFE

大都市・札幌の市街地に広大な農場を持つ北海道農業専門学校。学生寮(八紘寮)はその敷地内。全寮制だから実習や授業だけでなく、日常も一緒。仲間たちは農業でつながる一生の財産です。

### 生活に便利な立地



本寮は、本校敷地内にあるため通学は徒歩3分程度。各種アクセスは新千歳空港行バスターミナル・地下鉄福住駅まで徒歩5分。大型スーパーも徒歩5分と利便性が高く、過ごしやすい環境にあります。

### 笑顔あふれるイベント



寮生の親睦を深める楽しいイベントを開催。教職員も加わり、みんなで協力し合いながらイベントを盛り上げます。寮内が笑い声で満ち溢れるイベントは毎年の楽しみの一つ。

### 頼れる寮スタッフ



毎日「おかえり」とあたたかく迎えてくれるスタッフ。時には話を聞き、時にはそっと背中を押してくれる、学生に寄り添う存在です。寮母や舎監、夜間警備も常駐しており、緊急時にも安心して過ごせます。

## DAILY ROUTINE



## 寮生活をもっと楽しむ！



食堂

部屋

寮祭

収穫祭



# 先輩たちの進路と成長のストーリー

実習や講義だけでなく、インターンシップや学校行事として行われる「農業のごと相談会」などを通じて、進路のミスマッチを最小限に抑える取り組みを行っています。学生一人ひとりに対して、少人数制ならではのきめ細やかな進路サポートを実施し、将来の目標や夢に向けてしっかりと支えています。現場での実践経験や、多様な農業分野に触れることで、学生は自分に合った進路ややりたいことを見つけることができます。卒業後には、ここでの2年間の学びと経験を土台に、農業の現場をはじめ、関連するさまざまな分野で活躍する人材へと成長していきます。

## 活躍するOBとOG



### 植物研究から 世界へ挑戦

卒業後は北海道大学農学部へ編入し、大学院では植物ウイルスとニンニクの関係を研究しました。在学中、北大教授の講義で専門的な視点を学び、実践経験を理論で深めたいと思ったのが進路選択のきっかけです。現在はモザンビークで子育てをしながらMBAを取得し、国際会計士資格にも挑戦中。農業や食に興味がある人は、ぜひ北の大地で大きな夢を描いてみてください。

カンバザ 香さん 2013年卒 / 花き科



### 基礎を学び 酪農で挑戦の日々

現在は放牧主体の牧場で、経産牛約45頭と未経産牛約35頭を管理し、生乳を生産しています。在学中、「牛だけに後ろから見る」という言葉が印象的で、牛の小さな変化にも気づける目を養いました。学校で学んだ「清潔に丁寧に作業すること」は今も大切にしており、基礎を学んだことが自分を支えてくれています。ここでの学びは、将来の大きな力になるはずですよ。

市村 健太郎さん 2019年卒 / 乳牛科



### 農業の未来を支える 学びと挑戦

カルビーポテト株式会社でフィールドマンとして、生育状況の確認や肥料・農薬の提案、収穫機械の情報提供、貯蔵管理など幅広く担当しています。学校では農業の基本や全体像を学び、今の仕事を支える土台になりました。全国から集まった仲間との繋がりは卒業後も続き、情報交換や協力が成長につながっています。これから農業を学ぶ皆さんも、ぜひ学び続ける力を大切にしてください。

佐久間 彩南さん 2023年卒 / 野菜科



### 実践が今の仕事を 支える力に

長野県の白馬農場株式会社で、作付計画から生産、管理、出荷まで野菜づくりを担当しています。年間約50品目を少量多品目で栽培しており、学校で何度も練習した肥料や農薬の計算が今も役立っています。学生時代は機械や道具に多く触れ、まず実践で学び、その後座学で知識を深める学び方が自分には合っていました。農業には大変なこともありますが、その分やりがいを感じる仕事です。

新出 真央さん 2023年卒 / 野菜科

## 卒業生の進路実績 2026年3月末現在(過去5年間)

### 畜産グループ

**農業系法人**  
●日本ニューホランド株式会社(札幌市) ●株式会社 北富青果(新得町) ●伊達農業塾 風のがっこう(伊達市) ●(有)デーリィサポート(帯広市) ●株式会社本間家畜人工授精所(遠軽町) ●株式会社ASAHIサポートセンター(別海町) ●株式会社 奥秋牧場(鹿追町) ●今村牧場(更別村) ●株式会社 エステリアデイルーサービス(広尾町) ●有限会社 大原牧場(鹿追町) ●(株)新田ファーム(鹿追町) ●十勝CW牧場株式会社(帯広市) ●佐藤牧場(豊富町) ●山岸牧場(土幌町) ●株式会社美瑛ファーム(美瑛町) ●吉田牧場(上土幌町) ●稚内A1センター(稚内市) ●有限責任事業組合 帯広畜産センター(帯広市) ●株式会社 関谷牧場(新得町) ●有限会社 Mの国牧場(宮崎県) ●中川牧場(根室市) ●(株)木谷牧場(千歳市) ●株式会社 トップファーム(佐呂間町) ●石田牧場(鹿追町) ●合同会社TasukE(枝幸町) ●有限会社バインランドデーリィ(興部町) ●株式会社広振(広尾町)

### 酪農ヘルパー

●十勝酪農ヘルパー組合連絡協議会(帯広市) ●阿寒酪農ヘルパー利用組合(阿寒町)

### その他の法人

●株式会社 夢真(札幌市) ●学校法人 八紘学園 北海道農業専門学校

### 進学

●酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類

### 農業後継者

●帰省就農 / 幕別町、雄武町、枝幸町、音更町、鹿追町、豊富町、恵庭市、浜頓別町、興部町、猿払村、岩手県、千葉県、熊本県

### 園芸グループ

**農業系法人**  
●北王農林株式会社(幕別町) ●梨湖フーズ株式会社(白老町) ●(株)ハピネスワン(山梨県) ●有限会社浜田観光果樹園(杜野町) ●(株)グリーンオーシャン(東京都) ●白馬農場株式会社(長野県) ●株式会社NAKAGIN 平岡農園(札幌市) ●湯浅ファーム(倶知安町) ●深川市地域おこし協力隊(深川市) ●(有)ファームキトラ(長沼町) ●藤本園芸(兵庫県) ●ダイヤモンド十勝株式会社(芽室町) ●有限会社菅原牧場(紋別市) ●株式会社三木田(長沼町) ●株式会社北海道興農社(安平町) ●株式会社サカタのタネ(旭川市) ●当別町農業総合支援センター(当別町) ●The北海道ファーム株式会社(栗山町)

### その他の法人

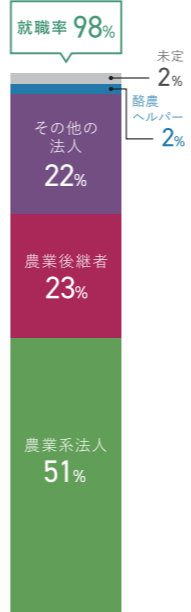
●株式会社GIS北海道(札幌市) ●社会福祉法人旭川旭親会(旭川市) ●カルビーポテト株式会社(帯広市) ●株式会社ダイブ(斜里町) ●北海道社警高等学校 農務従事員(杜野町) ●紋別郵便局(紋別市) ●海上自衛隊 陸上自衛隊 ●学校法人 八紘学園 北海道農業専門学校

### 進学

●北海道エコ・動物自然専門学校

### 農業後継者

●帰省就農 / 余市町



# 自ら学び挑戦する心が、 農業と人生を豊かにする。

この精神は、これから農業を学ぶ若い世代にも欠かせないものです。農業は自然環境や立地条件に大きく左右され、同じ条件で営農することはほとんどありません。その中で必要なのは、日常の観察力や分析力、判断力、そして実践力です。こうした力は、農業に限らず、これから社会で生きていく上でも大切な力だと考えています。

本校では、2年間という短い学びの中で、基礎技術を重んじた実学教育を通して、学生たちがこれらの力を育めるよう取り組んでいます。都市と農業が近接するこの環境で、学生たちは牛の世話や作物栽培、農業用機械の整備など、日々の実習を通して農業の基礎を学び、現場で使える力を磨いていきます。

また、直売所運営などを通じて地域とのつながりを感じ、自分が育てたものを誰かに届ける喜びや責任も学んでいきます。農業を通して社会に貢献するという実感は、学生たちの大きな成長につながっています。

農業は、国家の基盤となる産業で、誇り高い職業です。国民の食生活を支えるために、農業を好きになり、一生の仕事にできることの喜びを感じてほしいと願っています。

本校で学ぶことは、ただ知識を得るだけではありません。自耕自拓の精神を胸に、自分の足で歩き、周りと支え合いながら、自分だけの未来を切り拓いていく。その力を、ここ北海道農業専門学校で育てていってください。

学校法人 八紘学園 北海道農業専門学校

校長 鈴木 卓

## 自耕自拓

自ら学び、他人に頼らずに  
自力で道を切り拓くことや  
独立独立の建学の精神を表す。



# OPEN CAMPUS 2027

オープンキャンパス事前申し込み制

第1回

6/27 (土)

9:00 ▶ 15:00

第2回

7/29 (水)

9:00 ▶ 15:00

第3回

8/29 (土)

9:00 ▶ 15:00

オープンキャンパスの  
申し込みはこちら



EVENT

宿泊・日帰り体験実習【期間】5/7(木)~10/19(月)

日帰りでも、寮に泊まってじっくり体験でもOK!  
個別の見学・実習にも対応しています。まずはお気軽にお問い合わせください。

体験実習・見学の  
申し込みはこちら



## 札幌校舎へのアクセス

### JR・地下鉄でお越しの方

新千歳空港

JR札幌駅/地下鉄東豊線さっぽろ駅

地下鉄東豊線  
福住駅

約60分

### 空港連絡バス利用

新千歳空港

中央バス北都交通 札幌都心行き

地下鉄東豊線  
福住駅

約50分

### 車利用

新千歳空港

国道36号

校舎

約50分



地下鉄東豊線「福住駅」4番出口から徒歩5分

各種SNSにて農場や学校生活を紹介しています

学校法人 八紘学園 北海道農業専門学校

〒062-0052 北海道札幌市豊平区月寒東2条14丁目1-34

TEL 011-851-8236(代) FAX 011-851-8269

MAIL hakkou@hakkougakuen.ac.jp

北海道農業専門学校 日高農場

〒059-2122 北海道沙流郡日高町緑町44-2

TEL/FAX 01456-2-5280

HP



Instagram



LINE

